

2 学年 第 2 回医学セミナー

- 1 目 的 心肺蘇生や AED の使い方，異物除去，止血法などの応急手当を学ぶことを通して尊い命を救うことの大切さと医師を志す者として必要とされる知識や技術の習得を目指す。
- 2 日 時 7 月 1 7 日(土) 1 3 : 0 0 ~ 1 5 : 0 0
7 月 2 8 日(水) 1 4 : 0 0 ~ 1 6 : 0 0
- 3 対 象 医学コースの生徒
- 4 会 場 知道会館
- 5 講 師 水戸地区救急普及協会職員
- 6 内 容

本校 2 年生の医学部医学科を志望する生徒 3 9 名が参加し，第 2 回医学セミナーを行いました。例年の医学セミナーは，筑波大学医学部に訪問し，病院内の見学や実習を行ってきましたが，今年度はコロナウイルスの感染拡大の影響により，筑波大学への訪問は中止となり，その代替案として本校にて普通救命講習を行いました。

講習は 17 日，28 日のいずれか 1 回で，事前の e-ラーニング 1 時間と実習 2 時間の計 3 時間行いました。講習内容は，心肺蘇生のやり方から AED の使い方，異物除去，止血法などで，将来医師を目指す生徒たちにとって必要不可欠なものです。実習では，約 5 人 1 組の少人数の班に先生が 1 人付いて頂き，心肺蘇生訓練用の人形を使って，分かりやすく丁寧に教えて頂きました。

参加した生徒たちからは，「思ったよりも体力がいることが分かりました。今日は人形でしたが，実際の現場では生身の人間に同じことをしなければなりません。人形と同じことができるのかと不安なこともあります，今日学んだことを活かし，強い使命感を持って対応したいと思いました。」，「今回の実習を通して，医師の仕事の一端を垣間見ることができました。救命救急の実際の現場において，冷静に判断し，的確に行動するためには，医学に関する深い知識と技術が欠かせません。将来，多くの人の命を救うことができる医師になることを目指して，改めて日々の勉強を頑張っていこうと思いました。」という声を聞くことができました。

7 月 1 7 日(土)の実習の様子





7月28日(水)の実習の様子

